



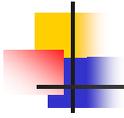
援助協調、援助モダリティの潮流に 現場はどう対応しているか —教育セクターの経験—

政策研究大学院大学・開発フォーラムセミナー
2006年1月6日



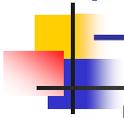
新しい援助モダリティ —90年代後半の国際協力環境の変化

- 当該国政府のオーナーシップの欠如
 - 当該国政府を意思決定、財務、行政、実施の”Driver's seat”へ
 - パートナーシップ
 - 援助機関の手続きを調和化することで取引費用を削減
 - 意思決定過程に市民社会(NGO)などのStakeholdersの参加を得る
 - 当該国政府と援助機関の連携を強化
 - プロジェクト濫立の弊害 国家計画、セクター開発計画に沿ったセクタープログラムへの支援
- セクターワイド・プログラム(SWAP)、財政支援**



開発目標と援助モダリティのリンク ー 貧困削減、「万人のための教育」

- EFA(「万人のための教育」開発目標)
- PRSP(貧困削減戦略書)
 - 重債務国(HIPC)において、世銀/IMFが貧困削減支援貸付(PRSC)の条件としている国家開発戦略文書。貧困削減のための優先セクターとして、教育、特に基礎教育を位置づける。



開発目標と援助モダリティのリンク ー 貧困削減、「万人のための教育」 (2)

- FTI(ファスト・トラック・イニシアチブ)
 - EFAの中で特に国際社会が重視する「2015年までの初等教育の完全普及」の達成が困難と見られる国々への重点的支援
 - FTIのCatalytic Fundなどの資金援助を得るためにはPRSPが出来ていること、教育のセクタープログラムがあること、が条件。

EFA、FTI、PRSP及び援助モダリティの相互の結びつきが強まっている。

特にHIPCなど、援助依存が高い国で、初等教育を中心としたSWAPの進行が早い。



FTIの承認プロセスを通った国 (05年11月時点)

ブルキナファソ	ホンジュラス	モザンビーク
エチオピア	ケニア	ニカラグア
ガンビア	レソト	ニジェール
ガーナ	マダガスカル	タジキスタン
ギニア	モーリタニア	ベトナム
ガイアナ	モルドバ	イエメン

 -HPC

3カ国教育セクター比較

	タンザニア	ウガンダ	カンボジア
教育セクタープログラムの範囲	PEDP (初等教育) - 手続きの調和化がかなり進んでいる (2001年より) SEDP (中等教育) - 2004年5月より開始	ESIP(1998年より) 初等教育に重点を置きつつもセクター・ワイド	ESP(2001年より) 初等教育に重点を置きつつもセクター・ワイド
教育セクタープログラムにおける援助モダリティの実施状況	a. 一般財政支援(PRBS) b. 教育セクター財政支援 (プールファンド及び世銀のSEDP支援) c. プロジェクト(初等教育では厳しく制限)	a. 一般財政支援 b. 教育セクター財政支援 (プールファンド) c. PAF支援(イヤーマーク、ノンイヤーマーク) d. プロジェクト	a. プロジェクト(教育セクターへの援助の6割) b. 一般財政支援(PAP含む) c. 教育省への予算外支援 d. NGOなどを通じた間接支援やIn-kind、技術支援
日本のセクタープログラムへの参画状況	参加? (企画調査員による援助協調、教育セクターに特化したプロジェクト・財政支援なし)	参加(プロジェクト、援助協調)	参加(プロジェクト、援助協調)
日本の教育セクター支援(2004年度時点)	スクールマッピング・マイクロプランニング(JICA開発調査)(Phase II2005年完了)	ナカワ職業訓練校プロジェクト(技プロ)(2005年完了)	理数科教育改善計画(技プロ)(Phase II実施中)
	企画調査員(教育セクタープログラム支援)	教育計画専門家	教育計画専門家
	アフリカ人づくり拠点(AICAD)(技プロ)		草の根技協による教育プロジェクト支援
	ダルエスサラーム小学校建設(無償、完了)	中等理数科技プロ(2005年4月より)	ブノンペン小学校建設(無償、Phase II実施中)
対GDP教育予算割合	3.2% (1990)g 4.4% (2002)c	1.5(1995) 2.5(2000)e	2.9(1995) 1.8(2003)e
教育予算に占める初等教育の割合(FTIベンチマーク50%)	71% (2003)d	67.9% (2004)f	75.5(1999-2001)d
GNIに占める援助の割合 援助依存度(サブサハラアフリカ平均 4.5(1997) 6.3 (2002))	13.8% (1996) 13.3 (2001)b	11.3% (1996) 14.1% (2001)b	13.6% (1996) 12.4% (2001)b
総就学率	67.2% (1990) 90.8% (2003)e	68.7% (1990) 140.7% (2003)e (実質約90%)	83.4% (1990) 123.8% (2003)e
教員1名に対する生徒数	40(2000)b	53(2000)b	59(2000)b
初等教育修了率	62.0(1990) 57.7(2003)e	49(1990) 65(2000)b	16.4(1995) 80.5(2003)e
初等教育無償化	2002年	1997年	2001年

a - UNESCO, "EFA Global Monitoring Report"2003/4

b - The World Bank "World Development Indicators"

c - United Republic of Tanzania, "Education Sector Public Expenditure Review 2003"

d- Human Development Indicators 2004

e- EdStats

f- ウガンダ国教育スポーツ省・教育計画局 2004年8月